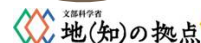


Monthly Letter



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～令和元年度)
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学



インターンシップ
WG

「行きたい！が見つかる インターンシップ企業合同セミナー」開催！

6月9日福井大学文京キャンパスで「行きたい！が見つかる インターンシップ企業合同セミナー」を開催しました。前年度に引き続き、福井大学キャリアセンターが主催し、COC+参加大学の学部生・大学院生を対象に開催しました。当日は私服姿の学生が多く、自然体でかつカジュアルな雰囲気の中で行われ、出展企業数は県内外41社、参加学生数は延べ250名以上(来場者数:福井大学 135名、福井県立大学 17名、福井工業大学 6名、仁愛大学 22名)といずれも前年度を上回る結果となり、夏季休暇中における学生のインターンシップ参加熱がより一層高まっているなかで、県内学生のインターンシップに対する関心の高さが伺えました。



参加企業の多くが若手職員やOB・OGをプレゼンターとして、就活前の学生に対し、若者目線で自社のインターンシップを熱くPRしており、「直接企業情報を聞きたい」と熱意を持った学生で会場がいっぱいになりました。

セミナー後のアンケートでは、学生満足度(満足・やや満足と回答)は、99.3%。また、89.4%の学生が「参加したいと思うインターンシップがあった」と回答し、就活前の1～3年生にとって、色々な可能性を模索する大変有意義なイベントとなりました。



(福井大学 キャリア支援課 宮崎詩織様より寄稿いただきました。)

令和元年度 部会長ミーティングを開催しました！

今年度最初の部会長ミーティングを、5月28日に福井大学文京キャンパスにて開催しました。この部会長ミーティングは、5大学連携ワーキング(以下、WG)の3部会長等が集まり、ふくいCOC+事業の方向性等を話し合う場と位置づけております。2019年4月からの各大学の役職者等の変更に伴い、ふくいCOC+事業の実施体制も大幅に変更となり、本事業責任者として、末副学長(福井大学)、5大学連携WGの3部会長として、①地域志向科目・インターンシップ部会は徳前副学長(福井県立大学)、小嶋学長補佐(福井大学) ②高大接続・留学生部会には安田副学長(福井大学) ③特色人材育成部会には池田副学長(福井工業大学)が担当することとなりました。

本ミーティングの冒頭、ふくいCOC+事業推進協議会議長である上田福井大学長からは「これまでの、ふくいCOC+事業の評価は、全国でS評価を受けた5大学の1つに入っており、今後もこのS評価を受けた実績を県内の大学で連携して上げていくということが重要で、じっくり意見交換しましょう。」との挨拶がありました。続いて、COC+推進コーディネーターから、これまでの4年間の取組み状況や本事業のKPI(重要業績評価指標)の達成状況等について説明があった後、今年度の主な事業計画についても話し合われました。この場で話し合われた内容は、COC+推進コーディネーターが即座に敦賀市立看護大学及び仁愛大学にも伺い説明し、5大学で情報共有することで5大学が一体となり、事業を推進しています。

(福井大学 地域連携推進課長 小林)

2019年主なイベント(予定)

- 7月
ふくい地域創生士®
フォローアップ研修
- 10月
考福塾に参加
- 11月
COC+フォーラム(仮称)

「福井の経済と経営者」 就業意識・就業能力などキャリア・マインドを醸成するきっかけを学生に！

「福井の経済と経営者」は、前期の毎週火曜日の4限目にFスクエア(アオッサ7階)で開講している授業です。内容は、繊維・化学、機械、建設、商業・観光・交通といった各業界で活躍している県内企業経営者の方から、福井県の経済・産業の現状と課題、また各社の現状と課題などについて、直にお話していただくとともに、講師の方の現在の職務内容や職業観などといった点についてもお話していただきます。学生達は、経営者の皆様から直接講義を受けることで、福井における産業や経済の理解を深め、福井県にはどのような産業・企業があり、どのような課題があるかを理解します。

そして、そのような課題に対する各経営者の取組みを通じて、福井県のことや県内企業のことをよく知ってもらい、県内外の学生に、福井県に愛着を持ってもらいたいと考えています。さらに5大学の学生が一つの教室で学ぶことで、普段はあまり繋がりのない県内5大学の学生の交流を深めることも意図しております。

(福井大学 教育・人文社会系部門 教授 岡崎英一先生より寄稿いただきました。)

まちづくり分野
WG

和田de路地祭の開催日が決定！

高浜町和田地区の美しい街並みや景観、暮らしを未来につなぐため、地域の価値を再認識・再発見し、地域の活力を上げようと、地域住民・行政・学生の協力で、2009年から始まった和田de路地祭。

第11回目を迎える今回の路地祭も、5大学全ての学生が参加し活動を始めています！

学生の企画会議が
始まりました！



試行錯誤しながら素晴らしい企画を作り上げ、みなさまにお届けする予定です。

興味を持っていただけの方は是非、和田まで遊びに来てください！

<問い合わせ先>

Mail: wadarojicoc2019@gmail.com



学生のアイデアが成功するよう応援しよう！
9月14日(前夜祭)、9月15日に開催！



※Instagram、Twitterなども順次更新しておりますので、お気軽にフォロー＆DMしてください。

twitter: @wadacoc2019
Instagram: wada_roji

(和田de路地祭2019学生代表 市原弾様<福井大学4年工学部野嶋研究室>より寄稿いただきました。)

編集後記

マイナビが2020年卒の大学生に実施した「インターンシップ前の意識調査」結果によると、インターンシップについて、『在学中に平均では、全体で「4.2回」経験したい。』と考えていることに驚きました。(「意識低い系」と言われそうですが20年近く前と比べると全く異なります。)さらに「内定を得た企業に入社したいと思ったタイミングは？」との調査では、「インターン参加時」が3割を超えており、おもて面の記事にあるように年々参加人数が増加し、会場の学生の熱量が高く学生の意識・動向が変わっていることを実感します。(大林)

